

第3次豊中市男女共同参画計画 成果指標案一覧

基本目標1 人権尊重と男女共同参画への意識を改革する

指標項目	継続 新規	策定時	取組み方向・ めやす値	備考
人権が尊重されているまちだと思ふ人の割合	新	女性：39.4% 男性：40.6%	増加	● 令和元年度市市民意識調査(問 23: 豊中市は、人権が尊重されているまちだと思いますか。) https://www.city.toyonaka.osaka.jp/joho/keikaku/soukei4/20180302162842780.files/R1shimin_ishiki_tyosa.pdf 令和3年度調査実施中
「男性は仕事、女性は家事・育児」という考え方に同感しない(固定的な性別役割分担意識について『反対派』)の割合	継	女性：57.7% 男性：42.8%	増加	● 豊中市「女性と男性がともに暮らしやすい豊中市をつくるためのアンケート」(令和2年度) ● 旧基本目標2成果指標 ● 大阪府計画: 施策体系1の指標(R1:64.8%⇒目標値 R7:80%)
性的少数者について「言葉も意味も両方知っている」人の割合	新	女性：58.5% 男性：51.3%	増加	● 豊中市「女性と男性がともに暮らしやすい豊中市をつくるためのアンケート」(令和2年度) ● 性的少数者の人権尊重に向けた取り組みと相談支援の充実が課題であるため、新規設定。
性的少数者にとって、現状は生活しづらい社会と思う人の割合	新	女性：83.6% 男性：80.1%	減少	● 豊中市「女性と男性がともに暮らしやすい豊中市をつくるためのアンケート」(令和2年度) ● 性的少数者の人権尊重に向けた取り組みと相談支援の充実が課題であるため、新規設定。
すてっぷの認知度	継	全体：35.2% (女性：39.1%) (男性：29.0%)	増加	● 豊中市「女性と男性がともに暮らしやすい豊中市をつくるためのアンケート」(令和2年度) ● 旧基本目標2成果指標 ● 特に男性、若年層の認知度の向上も必要。 ● 大阪府計画: 施策体系1の指標「ドーンセンターの認知度」(R1:34.3%⇒目標値 R7:40%)
すてっぷの来館者数	継	71,492 人 (令和2年度)	増加	● 旧基本目標2成果指標

基本目標2 あらゆる分野での女性の活躍を推進する

指標項目		継続 新規	策定時	取り組み方向・ めやす値	備考
待機児童者数		継	0	ゼロの維持	●旧基本目標4成果指標 ●大阪府計画:施策体系2の参考指標(保育所等利用待機児童数)(R2:263人(参考指標は現状値のみ提示)) ●第2期豊中市子育て・子育て支援行動計画:2-4成果指標(R1 年0人⇒目標値 R7年:0人)
審議会等の女性委員の割合		継	31.5%	40%以上 60%以下	●旧基本目標4成果指標 ●大阪府計画:施策体系2の指標(審議会における女性委員の登用率)(R3:33.4%⇒目標値 R7:40%以上 60%以下) ●国第4次計画:第1分野の指標(地方公共団体の市町村の審議会等委員等に占める女性の割合)(R2:27.1%⇒目標値 R7:40%以上 60%以下) ●国・府の目標値を踏まえて「40%以上 60%以下」に目標値を修正
女性委員のいない審議会等の数		継	2/87	0	●旧基本目標4成果指標
豊中市議会議員の候補者に占める女性の割合		継	20.0%(令和2年度)	35%	●旧基本目標4成果指標 ●国第4次計画:第1分野の指標(衆参議員立候補者に占める女性の割合)の目標値が35.0%であることから目標を修正
市の各役職階級者に占める女性の割合	①課長級以上	継	24.4%(令和2年度)		●旧基本目標4成果指標 ●市特定事業主行動計画では令和7年度30%目標 ●大阪府計画:施策体系2の指標(府(知事部局等)職員の課長級以上に占める女性職員の割合)(R2:11.1%⇒目標値 R7:20%以上)
	②課長補佐級	継	32.4%(令和2年度)	現状以上	●旧基本目標4成果指標
	③係長級	継	46.8%(令和2年度)	50%	●旧基本目標4成果指標
市の学校の教頭以上に占める女性の割合	①校長	継	32.7%	増加	●旧基本目標4成果指標 ●大阪府計画:施策体系2の指標(大阪府(公立学校)教職員の教頭以上に占める女性教職員の割合)(R2:21.9%⇒目標値 R7:25%以上)女性活躍推進法に基づく公立学校における特定事業主行動計画より
	②教頭	継	40.6%	増加	同上

指標項目	継続 新規	策定時	取組み方向・ めやす値	備考
市の男性職員の育児休業取得率	継	13.9%(令和2年度)		●旧基本目標4成果指標 ●市特定事業主行動計画では令和6年度30%目標 ●大阪府計画:施策体系3の指標(類似:男性の育児休業取得者の割合)(H30:3.6%⇒目標値R7:11%) ●国第4次計画:第2分野の指標(類似:民間企業における男性の育児休業取得率)(R1:7.48%⇒R7:30%)
市の男性職員の配偶者の出産に伴う休暇取得率	継	92.4%(令和2年度)		●旧基本目標4成果指標 ●市特定事業主行動計画では令和6年度95%以上目標
自治会やNPOなどの地域活動・社会活動の場で、男女が平等になっていると思う人の割合	継	女性:27.9% 男性:42.8%	増加	●旧基本目標4成果指標
平日・休日に家事・育児・介護等をほとんどしない男性の割合(平日・休日の家事、育児、介護等に要する時間を「ほとんどない」と回答した男性の割合)	継	平日:33.9% 休日:31.1%	減少	●豊中市「女性と男性がともに暮らしやすい豊中市をつくるためのアンケート」(令和2年度) ●旧基本目標4成果指標 ●大阪府計画:施策体系3の指標(類似:6歳未満の子どもを持つ夫の育児・家事関連時間)(H28:85分/日⇒目標値R7:120分/日)
「仕事」と「家庭生活」をともに優先したいと回答した人の「希望ー現実」のスコア差	新	女性: +10.4 男性: +13.3	希望と実現の差を ちぢめる (スコア差を 0に近づける)	●豊中市「女性と男性がともに暮らしやすい豊中市をつくるためのアンケート」(令和2年度) ●旧基本目標4成果指標(類似) ●希望と現実のスコア差を指標に設定 女性 希望:29.5% — 現実:19.1% 男性 希望:33.3% — 現実:20.0%
ワーク・ライフ・バランスに関する取組みを実施している市内事業所の割合	新	69.9%	増加	●豊中市「女性と男性がともに暮らしやすい豊中市をつくるためのアンケート」(事業所調査)(令和2年度) ●企業・事業所へのワーク・ライフ・バランス及び多様な働き方の実現に向けたアプローチの強化が課題であるため、新規設定
すてっぷ就職活動相談における、起業や就労に結びついた人数の割合	継	14.3%	増加	●旧基本目標4成果指標

基本目標3 すべての人がいきいきと安心して暮らせる環境を整備する

指標項目		継続 新規	策定時	取組み方向・ めやす値	備考
地域就労支援センターで受けた相談のうち、過去1年間で就労に結びついた件数とその割合		続	女性：105人・11.6% 男性：89人・8.4% (令和2年度)	増加	● 旧基本目標3成果指標
すてっぷ就職活動相談における、起業や就労に結びついた人数の割合		継	14.3%	増加	● 旧基本目標4成果指標
母子父子福祉センター相談対応件数（延べ件数）		新		増加	● 第2期豊中市子育て・子育て支援行動計画：2－3成果指標（H30：313件⇒目標値 R6：増加）
CSW（コミュニティソーシャルワーカー）相談支援件数		新	1,048件 (2019年3月)	1,080件 (2030年)	● SDGs未来都市計画：2030年のあるべき姿の実現に向けた優先的なゴール、ターゲット（社会）と同様
誰もが安全に安心して暮らせる環境が整っているまちだと思う人の割合		新	女性：56.3% 男性：57.0% (令和元年度)	60% (2030年)	● 令和元年度市市民意識調査（問14：豊中市は、誰もが安全に安心して暮らせる環境が整っているまちだと思いますか。） https://www.city.toyonaka.osaka.jp/joho/keikaku/soukei4/20180302162842780.files/R1shimin_ishiki_tyosa.pdf 令和3年度調査実施中
女性に関するがん検診の受診率	①乳がん検診	新		増加	● 女性の健康対策の推進の成果として設定（健康増進計画で指標設定済み）（女性20～69歳 H28：45.0%⇒目標値 R4：50%） ● 大阪府計画：施策体系4の指標（乳がん検診受診率）（R1：41.9%⇒R5：45.0%（大阪府がん対策推進計画）） ● 国第4次計画：第7分野の指標（乳がん検診受診率（40～69歳））（R1：過去2年間の受診率47.4%⇒目標値 R4までに50%）
	②子宮頸がん検診	新		増加	● 女性の健康対策の推進の成果として設定（健康増進計画で類似指標設定済み）（女性20～69歳 H28：40.7%⇒目標値 R4：45%） ● 大阪府計画：施策体系4の指標（子宮頸がん検診受診率）（R1：39.8%⇒R5：45.0%（大阪府がん対策推進計画）） ● 国第4次計画：第7分野の指標（子宮頸がん検診受診率（20～69歳））（R1：過去2年間の受診率43.7%⇒目標値 R4までに50%）

基本目標 4 あらゆる暴力を根絶する

指標項目		継続 新規	策定時	取組み方向・ めやす値	備考
DVで次のような行為を 「どんな場合でも暴力にあたる」と回答した人の割合	①何を言っても長時間無視される	継	女性：37.1% 男性：28.7%	増加	●豊中市「女性と男性がともに暮らしやすい豊中市をつくるためのアンケート」(令和2年度) ●旧基本目標1成果指標 ●精神的暴力
	②大声でどなられる	新	女性：45.8% 男性：35.1%	増加	●豊中市「女性と男性がともに暮らしやすい豊中市をつくるためのアンケート」(令和2年度) ●精神的暴力 ●男女ともにDVであるという認知が低いため新規設定。
	③あなたの交友関係や電話、メールを細かく監視されたり、外出を制限される	継	女性：59.5% 男性：46.7%	増加	●豊中市「女性と男性がともに暮らしやすい豊中市をつくるためのアンケート」(令和2年度) ●旧基本目標1成果指標 ●精神的暴力 ●大阪府計画:施策体系4の指標(全体 R1:63.8%⇒目標値 R7:80%)
	④実家の親・きょうだい・友人との付き合いをいやがられたり禁止されたりする	新	女性：57.7% 男性：42.8%	増加	●豊中市「女性と男性がともに暮らしやすい豊中市をつくるためのアンケート」(令和2年度) ●社会的暴力 ●男女ともにDVであるという認知が低いため新規設定。
	⑤十分な生活費をわたさない	新	女性：58.2% 男性：46.9%	増加	●豊中市「女性と男性がともに暮らしやすい豊中市をつくるためのアンケート」(令和2年度) ●経済的暴力 ●男女ともにDVであるという認知が低いため新規設定。 ●大阪府計画:施策体系4の指標(類似「自由にお金を使わせない、生活費を渡さない、借金を強要する」の全体の割合 R1:81.8%⇒目標値 R7:90%)
DV被害を相談しなかった人の割合(「相談したかったが、しなかった(できなかった)」+「相談しようと思わなかった」の割合)		新	女性：45.0% 男性：59.3%	減少	●豊中市「女性と男性がともに暮らしやすい豊中市をつくるためのアンケート」(令和2年度) ●旧基本目標1成果指標では「相談したかったが、しなかった(できなかった)」人の割合を設定。 ●大阪府計画:施策体系4の指標(「どこ(だれ)にも相談しなかった」の全体の割合 R1:42.7%⇒目標値 R7:30%以下) ●DVへの認識の向上により、「相談しようと思わなかった」の割合の低下をめざす。

指標項目		継続 新規	策定時	取組み方向・ めやす値	備考
DVに関する 相談窓口に関 する認知状況	①相談窓口として「豊中市配偶者暴力相談支援センター」を知っている人の割合 (同センターの認知度)	新	女性：6.5% 男性：9.6%	増加	●豊中市「女性と男性がともに暮らしやすい豊中市をつくるためのアンケート」(令和2年度) ●大阪府計画:施策体系4の指標(配偶者暴力相談支援センターの認知度 R1:20%⇒目標値 R7:25%)
	②相談できる窓口があることを知らなかった人の割合	新	女性：13.3% 男性：16.4%	減少	●豊中市「女性と男性がともに暮らしやすい豊中市をつくるためのアンケート」(令和2年度) ●相談窓口等の周知啓発の強化が課題として挙げられているため新規設定。
セクシュアル・ハラスメントの防止の取組みを実施している市内事業所の割合		新	47.2%	増加	●豊中市「女性と男性がともに暮らしやすい豊中市をつくるためのアンケート」(事業所対象)(令和2年度) ●旧基本目標1では「職場でセクシュアル・ハラスメントを受けた女性の割合」だったが、市外で働く人が多い中で、計画の取り組みと指標の関係が不明確であるため、事業所へのセクハラ対策の働きかけが結果として見える指標を新規で設定。